

フクシマ環境未来基地

平成27年度

平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日



事業報告書



ミッション

- 1) 若者の力で、環境問題、地域の抱える課題を解決していく
- 2) 社会貢献を通じ、次の地域・社会を担う若者をはぐくむ
- 3) 地域の価値や人のつながりを再生し、市民の手による新しい社会をつくる

団体概要

◀ 団体の概要 ▶

名称 フクシマ環境未来基地
住所 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40
TEL/FAX 0246-85-2777
MAIL fukushima@conservation-corps.jp
URL <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>



- 形態 任意団体
- 設立 2011年5月10日 事務所開設 8月
- 職員
 - 非常勤 3名
 - 会員 一般会員 団体会員 協力会員

設立の経緯

フクシマ環境未来基地は、東日本大震災発生後の2011年6月に設立された若者主体の団体です。福島県いわき市で、全国から参加してくださるボランティアの皆さんとともに復旧・復興支援活動に取り組んできました。

現在はいわき市三和町下三坂地区を拠点にし、地域の人たちと一緒に森づくり、地域づくり活動を行いながら、復興支援活動も継続して行っています。

東日本大震災ではたくさんの教訓を得ましたが、その中でも「支え合い」、「環境とエネルギー」、「若者の力」の重要性を改めて認識しました。

私たちは活動を通じて、世代、地域、背景を超えた人と人の支え合いを構築していきます。また私たちが暮らす環境やエネルギーをより良いものに変えていきたいと思えます。そして、これからの変化の中心を若者たちが担っていけるように、若者たちと共に活動していきます。



平成27年度の主なニュース

① 森林と市民を結ぶ全国の集い 2015 in 福島の、事務局を務めました

6月12日～14日に福島県で開催されました、森林と市民を結ぶ全国の集い in 福島の事務局を担いました。前半は、県内4地区(いわき、相双、県南、会津)に分かれてエクスカージョンを行いそれぞれのテーマや活動現場を視察しました。後半はフォレストパークあだたらに全員が集合し、これから福島の森林のためにできるアクションプランを考えました。



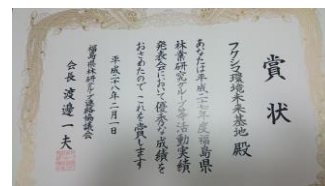
② 三和ハウスの改修が進み、きれいになりました。小さいながら薪ストーブも導入！

ボランティアの皆さんとともに、活動の拠点となる事務所及びボランティアハウス(通称:三和ハウス)の改修作業をコツコツ進めました。しっくいを塗ったり、木工クラフトルームをつくったりと、滞在にも活動にも快適な建物になりました。次年度からはこれを活かし長期滞在型のプログラムを開始します。



③ 平成27年度福島県林業グループ等活動実績発表会で、優秀賞

2月に開催されました平成27年度福島県林業グループ等活動実績発表会で、優秀賞をいただくことができました。これまでご協力、参加いただいた皆さんと受賞したものだとおもいます。ありがとうございました。



活動実績(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

活動日数 88日 参加者数 1,941人/日

※NPO法人トチギ環境未来基地との共催事業である、海岸林再生活動参加者含む

※木工クラフト開催日数(18日)と、木工クラフト参加者348人含む。

事業

三和町での森づくりボランティア活動の実施
福島県森づくり団体応援ツアーの実施
木をいかす、木とふれあう、木工クラフト教室の開催
地域の活性化に向けて、農作業、地域行事参加
海岸林の整備、再生事業 ※トチギ環境未来基地、いわきの森に親しむ会と共に

助成

今年度は次の助成をいただきました。

- 赤い羽根共同募金ボラサポ 福島県森づくり団体応援ツアー事業助成
- ふくしま未来基金(三和町の木をいかした地域づくり活動事業助成)



いわき市三和町下三坂での森づくり活動

三和町下三坂での森づくり活動も本格的にスタートしました。これまでは里山の整備が中心でしたが、平成27年度からはスギ、ヒノキの人工林の整備作業も開始しました。また間伐作業等で出た木材の有効活用についても検討を深めました。



大学生を中心にたくさんのボランティアの皆さんが作業を進めてくれました。



ヒノキ林での枝打ち作業



ヒノキ林での間伐作業



間伐した木は搬出をして、



皮むきをして、木工クラフト小屋建設の材料として活用しました。

三和は林業で栄えた歴史があり、いまでも美しい人工林があります。比較的新しいスギ、ヒノキ林はやはり手入れが行き届いていないところもあり、整備が必要です。少しずつですがボランティアの皆さんと整備を進め、この森を次の世代に美しいまま伝えていけたらと思います。作業指導も地元の人たちにしていただきました。農業から林業まで、「百姓」の皆さまの技と知識に驚くことばかりです。

木工クラフト交流会の開催

森づくり活動で除伐、間伐などの作業を行うと、木材が取れます。その木材を有効活用し、子どもからお年寄りまで幅広い人たちが木と親しむ機会をつくれるように、木工クラフト交流会を開催しています。外でのイベントにも声をかけていただく機会が増えました。



上三坂のイベントで。親子でたくさん参加してくださいました。



ガールスカウト日本連盟のいわきキャンプの一コマで。たくさん子ども達と楽しみました。



いわき市の大交流フェスタにて。屋外のイベントで楽しく開催できました。



下三坂の福寿草祭りにて。団体の活動についても紹介する機会をいただきました。



三和町の高齢者施設にて。若者たちの交流の機会としても人気です。

木工クラフト、楽しんでいただく機会が増えてきました。整備から活用までの一連の流れを仕組みにすることができてきました。次年度は拠点に木工クラフト工房を正式にスタートできる予定です。木工クラフトを通じて木と触れ合う機会を増やしていきたいとおもいます。作品の種類を増やすことも次年度の目標です。

いわき市三和町下三坂での田んぼ、その他の活動

フクシマ環境未来基地の田んぼ、今年もお米を収穫してきました。
ボランティアの皆さんと一緒に作るお米です。地域の行事にも、運動会、
秋祭り、清掃作業や共有地の草刈りなど地元の人たちと一緒に参加しました。



苗床づくり。地域の皆さんと一緒にやりました。



立派に苗が育ち、いよいよ田植え。
お米の種類は、ひとめぼれです。



田植え。4枚の田んぼのうち、一つは
手植えで田植えを行いました。



稲刈り。教えていただきながら無事収穫で
きました。



地域のイベントにも各種参加しました。
写真は近くの神社の秋祭りです！

一緒に取り組んだ若者も、田んぼは夏の
草刈りもふくめ、こんなに手間がかかるとい
うことも体でわかる人が増えました。収穫
の喜びと共にお米は大切に、という気持
ちが高まります。
地域の方々と一緒に参加するイベントも
本当に交流の良い機会です。いつも暖か
く若者たちを受け入れてくださります。

福島県の森づくり団体応援ツアーの開催

6月に開催された森林と市民を結ぶ全国の集い2015 in 福島には100名を超える方々が参加しました。これから福島県の森林をどうするか、市民にできることは何かを話し合いました。その時にまとまったアクションプランの一つを、形にしました。

若者たちがもっと森づくりに参加し、ベテランの団体と一緒に力を合わせる仕組みです。

森林と市民を結ぶ全国の集い2015 in 福島



エクスカーション:いわき地区。いわきの森に親しむ会の活動現場を視察しました。



全体会でグループに分かれてのアクションプラン作り。様々なアイデアが出ました。



若者たちと、NPO法人いわきの森に親しむ会の活動に参加。



湯の岳山の麓、栗園跡地の整備を行いました。



会津での活動もスタートしました！

森林ボランティア団体は活動メンバーの高齢化という課題を多くが抱えています。素晴らしい活動をされてきた団体が、次の世代にその活動をバトンタッチできるように、若者たちの森づくり活動への参加を進めています。作業と一緒に進めることだけでなく、何気ない会話の中に若者が学ぶべきことがたくさんあります。次年度以降さらに仕組みを整えていきたいと考えています。

海岸林の再生に向けて 「苗木 for いわき」プロジェクト

NPO法人トチギ環境未来基地、NPO法人いわきの森に親しむ会との共同事業

趣旨

東日本大震災に伴う津波により、いわき市四倉～沼の内のクロマツの海岸林も大きな被害を受けました。美しい景観と、海岸林本来の機能を取り戻すために、クロマツを植林していく必要があります。市民の力で海岸林の再生をすすめるプロジェクトです。

平成27年は、1,361人が活動してくださいました。



これからの時代を担っていく子どもたちも積極的に活動に参加してくれています



整備をして



クロマツの苗木を植林します



【参加者の感想】

暑い日の参加で最後まで活動できるか心配でしたが、たくさんのボランティアの皆さんと一緒に作業でしたのでやりきることができました。重い木を運んだり普段あまり使わない体を思い切り使ったので疲れましたが、整備したところが見違えるほどきれいになりうれしかったです。

私たちにもまだできることがあるということを実感できて良かったです。また参加したいと思います。

拠点の整備活動

ふくしま未来基金の助成をいただき、拠点の整備にも着手することができました。しっくいを塗ったり、木の板を張りなおしたりして、美しい三和ハウスになりました。小さいながら薪ストーブも導入し、木質エネルギーの利用も少し進みました。



土壁にしっくいをぬりきれいになりました。



外の壁にも黒板をつけました。絵の上手な大学生が季節に合った絵をかいてくれています。



木工クラフト&木工作品展示スペースもできました。



地域の人たちも遊びに来てくれる機会が増えました。

平成27年度を振り返って

平成27年度もたくさんの方々にご支援、ご協力をいただき無事活動を終えることができました。平成27年度は、三和町での活動の充実に力をいれました。拠点の整備、森林フィールドの拡大と、木の活用、これらのある程度形にすることができました。次年度以降、設立当初からの目標の一つであった長期滞在型森づくりプログラム(Conservation Corpsプログラム)を開始する基盤が整いました。

震災から5年が経過し、「苗木forいわき」プロジェクトも、より地元の力を海岸林再生につなげることを大きな方向性として打ち出し、次年度以降はフクシマ環境未来基地がこのプロジェクトの事務局を担うことを決めました。いわき市の森づくり団体としてより多くの方々とともに活動を行っていきたいと思います。

若者たちも年間を通じてたくさん活動にきてくれました。三和が好き、森の作業楽しいといったフィードバックが活動の励みとなっています。ともに活動を進めた全ての若者達に感謝します。

平成28年度、今年の実験をいかにさらに飛躍できるように全力を尽くします。

フクシマ環境未来基地 平成27年度 事業報告書

平成28年6月10日発行

編集・発行 フクシマ環境未来基地 事務局
発行責任者 塚本 竜也
連絡先 〒970-1376 福島県いわき市三和町下三坂字永久保40

TEL/FAX 0246-85-2777

MAIL : fukushima@conservation-corps.jp

URL : <http://fukushima-c-c.jimdo.com/>